

【1.体制】

事務員7名（経営企画室兼務3名）、技能員1名、清掃スタッフ5名、レストランスタッフ3名、売店スタッフ4名（派遣スタッフ1名含む）の20名体制で臨んだ。2025年3月には、熊本病院との施設間異動により、技能員1名が異動した。

【2.取組内容と実績】

1. 2024年度事業報告

(1) 許可病床削減

直近5年間の1日平均入院患者数の動向、また人員確保（看護師）の厳しい状況を踏まえ、2024年度医療施設等経営強化緊急支援事業である「病床数適正化支援事業」補助金の支給対象の観点も考慮し、3月1日付けで許可病床数を8床減少させ、112床とした。

(2) 支部業務統合WTによる活動

支部内の組織体制の効率化を目的として熊本病院とみすみ病院の職員より発足し、このチームの活動により人事・経理業務に対し、以下の通り業務改善や制度の統一化などを図った。

■人事業務

- ・熊本病院との人事制度の統一化
- ・経営状況に応じた賞与および病院業績給の削減基準の策定
- ・不足職種に対する支部内施設間異動による人員補填の体制構築
- ・熊本病院に合わせた人事申請方法の電子化（年末調整・個人情報変更時申請他）

■経理部門

- ・部門別収支作成のシステム化の検討
- ・入力業務軽減化に向けた熊本病院の購買システム(PMS)導入検討

(3) 経営戦略会議での費用削減の取り組み

7月より開始した経営戦略会議で費用削減対策に向けて以下の通り活動した。

- ・各種手当の見直し
（熊本病院との人事制度統一化に伴うみすみ病院独自手当の見直し）
- ・事務制服の一部廃止
- ・節電に努めることでの光熱水費の削減
- ・紙印刷の抑制および裏紙利用の推進
- ・ハイブリッド研修は原則オンライン参加

(4) 建物設備老朽化に伴う更新

各種設備の老朽化に伴い、以下の更新を行った。

- ・地下オイルタンク整備および給油配管の更新
- ・昇降機2台の修理
- ・水道配管の老朽化による水漏れ発生のため、配管を更新した

(5) 地域行事への参加

- ・三角東港でみすみ港まつりが開催され、4年ぶりに職員・職員家族の約60名が踊りパレードへ参加した。
- ・宇城市が主催する「宇城市総合防災訓練」が三角東港広場で開催され、震度7の地震を想定した訓練の第2次トリアージとして、医師1名、看護師2名、事務1名の合計4名で参加した。

【3.今後の課題】

- ・不足している職種の充足に向けて、支部一体での採用活動および人員サポート体制の確立
- ・昨年に引き続き熊本病院との人事制度の統一化（人評価制度の見直しなど）
- ・職員が働きやすい職場環境の整備